

具体的な取り組み〈2022年度〉

データ集積のための基盤強化・拠点化

2020年度から開始したJH Super Highwayをはじめとしたデジタル共通インフラの整備を進める。またOffice365などの研究利用可能な環境の活用支援を行う。

6NCの電子カルテからの疾患情報を統合的に取得できる共通医療データベースの拡充を図る。

データ基盤課カウンターパートとの意見交換会を開催し、6NC間での情報共有及び連携を図る。

共同研究の推進

実験・解析基盤のための、あるいはNC連携が効果的な新規横断的研究推進事業の立ち上げを図る。

2021年度までに開始している横断的研究推進事業について、各課題の進捗管理や課題評価を実施し、効果的な研究開発の推進・事業化等に取り組む。また、関連する大型研究費の獲得を目指した支援や、NC連携の研究開発基盤整備の推進に取り組む。

NC連携若手グラントについて周知・啓発し、各課題の進捗を支援し、効果的な研究開発の推進等に取り組む。

課題実施に伴う、企業・アカデミア等との交渉支援を実施する。

NC内の患者レジストリにおけるNC間の研究連携を支援・強化する。

知財・法務

6NC共通するものとして構築した知財・法務に関する相談スキームの適切な運用を図り、JHによりNC間における知財・法務に関わる知見の共有を推進する。

法務専門家の協力も得つつJHによる各NCへの知財・法務に関する支援を推進するとともに、NCの実務支援に向けたプラットフォームの充実を図る。

広報

Webサイトの充実を図るとともに、NC間の連携による取り組み等について、国民を始め企業やアカデミアに幅広く情報提供を行う。

JH研究課題の成果に関して、プレスリリースなどを通じて情報発信を行う。

Webサイトアクセス数について、研究課題やJHの活動成果の発信を推進することにより増加を目指す。

各NCのSNSを通じて、JHの認知度向上を図る。

人材育成

各NCの人材育成に関わる部署との連携を図り、各NCの連携大学院等の実態調査や研究支援人材の育成支援体制の構築に取り組む。特に生物統計分野においては、6NCが連携し実務を通して若手人材の育成支援を行う。

6NC共通教育用プラットフォームを構築し、疾患領域横断的な人材育成のために、NC横断的な教育コンテンツのWeb配信による教育機会の提供を行う。



ロゴデザインコンセプト

— Logo Design Concept —

「医療の未来には、無限の可能性がある」をメインコンセプトにデザインされました。人々や分子の象徴でもある6つのモチーフが、あたかも手を携えるように円陣を組みながら連携することで世界の頂を目指す勢い感と、組織としての安定感を表現しています。中心の空間は明るい光、まっさらの未来を表しています。その中心に、略称JHを配置することで、JHが医療研究の未来を切り開いていくチャレンジの姿勢を表現しました。色彩は、連携する6つの国立高度専門医療研究センターの多様性を考慮して循環するカラーパレットを用い、無限の可能性を表現しています。

国立高度専門医療研究センター 医療研究連携推進本部（JH）

<https://www.japanhealth.jp/index.html>

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
(国立国際医療研究センター内)

TEL 03-5273-6856 FAX 03-5273-6857

Email jh-pr@jh.ncgm.go.jp



国立研究開発法人
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan



国立循環器病研究センター
National Central and Cardiovascular Center



国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター
National Center of Neurology and Psychiatry



国立研究開発法人
国立国際医療研究センター
NCGM National Center for Global Health and Medicine



国立研究開発法人
国立成育医療研究センター
National Center for Child Health and Development



国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
National Center for Geriatrics and Gerontology



国立高度専門医療研究センター
医療研究連携推進本部
Japan Health Research Promotion Bureau

国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部

活動方針

国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部 (Japan Health Research Promotion Bureau : JH)は、国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、国立精神・神経医療研究センター、国立国際医療研究センター、国立成育医療研究センター、国立長寿医療研究センターの6つの国立高度専門医療研究センター (NC) が世界最高水準の研究開発・医療を目指して新たなイノベーションを創出するために、6NCの資源・情報を集約し、それぞれの専門性を生かしつつ有機的・機能的連携を行うこと。またそれにより、日本全体の臨床研究力の向上に資することを目的として2020年4月に発足されました。

全体的方針

上記ミッションを達成するため、以下のことを実現します。

1

新たなニーズに対応した研究開発機能を支援・強化

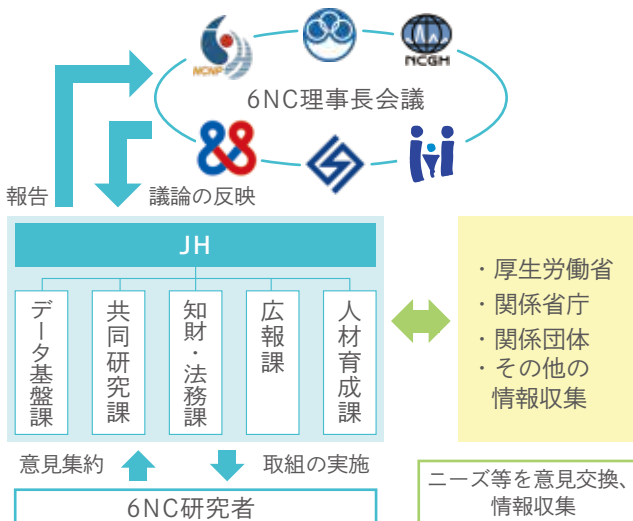
2

6NC連携で効果的な研究開発が期待される領域の取り組みを支援・強化

3

6NC全体として研究成果の実臨床への展開を支援・強化

運営体制



これまでの主な取り組み

新たなニーズに対応した研究開発機能を支援・強化

6NC間のインターネットの超高速化を支援し、JH Super Highwayとして、全ての関連施設 (6NC・9施設) にて10Gbpsでの接続を完了。

6NC統合電子カルテデータベース (6NC-EHRs) を構築。まずは4NCより60万レコードのデータを抽出・活用したパイロット研究を開始。

研究支援人材の育成に取り組むため、各NCの研究支援人材部門の実態調査等を実施。特に生物統計分野においては6NCが連携し実務を通じた人材育成を行う体制の支援を開始。

6NC共通教育用プラットフォームを構築し、疾患領域横断的な人材育成のため、各NCの教育・研修コンテンツの配信を開始。

6NC連携で効果的な研究開発が期待される領域の取り組みを支援・強化

横断的推進研究費14課題の進捗管理及び外部評価を実施。研究開発を推進し、2022年度の各課題方針を決定。1つの研究課題が、ST戦略的創造研究推進事業の獲得に結び付いた。

NC連携若手グラント12課題の進捗管理及び中間評価を実施し、研究開発を推進した。また、2022年度若手グラント新規課題の審査を行い、12課題を採択し、進捗管理・評価を行った。

6NC全体として研究成果の実臨床への展開を支援・強化

6NC共通で構築した知財・法務に関する相談スキームを構築し、6NC間における知見・課題の共有や、支援・強化を推進。

JHが支援している研究課題やその概要等についてJHのホームページを充実。

JHが支援している研究

2019年度開始 6課題

2020年度開始 7課題

COVID-19関連 2課題

2021年度開始 1課題

若手研究助成 12課題

具体的な主な成果

6NC電子カルテ統合データベースの構築を開始



2021年度に、6NCの電子カルテデータを統合し、利活用を可能にする6NC電子カルテデータベース (6NC-EHRs) を構築。

6NCに所属する職員は、6NC-EHRsのデータを研究に活用することが可能となり、2022年度から具体的な研究に取り組む。

新型コロナウイルスワクチン接種後の抗体価は喫煙・飲酒・肥満に関連していることが明らかに



JH横断的研究推進事業において、ナショナルセンター職員のワクチン接種後のスパイクタンパク質IgG抗体価を測定し、生活習慣や肥満度との関連を分析。

喫煙者・飲酒者・肥満者 (男性) はワクチン2回接種後の抗体価が低かった。

若手研究者や研究支援人材に係る人材育成を開始



2021年度より新たに6NCの若手研究者を対象とした若手研究助成を開始。

研究支援人材、特に生物統計分野で、6NC連携を通じた人材育成を開始。

JHシンポジウム2021を開催し、JHの取り組みを発信



「6NCがSuper Highwayで加速する日本のメディカルサイエンス」をテーマとしたシンポジウムを開催。

JHのミッションの紹介、Super Highwayの紹介やデモンストレーション、6NC横断的研究推進費課題の成果発表、外部の研究資金配分機関や企業 (製薬・医療情報)、社会医学の立場の方が参加した総合討論を行った。

